

新冠川水系流域治水協議会 規約（案）

（設置）

第1条 「新冠川水系流域治水協議会」（以下「協議会」という。）を設置する。

（目的）

第2条 協議会は、令和元年（2019年）東日本台風や平成28年（2016年）8月の一連の台風など、近年の激甚な水害や、気候変動による今後の降雨量の増大と水害の激甚化・頻発化に備え、あらゆる関係者が協働し、流域全体で水害を防止・軽減する治水対策、「流域治水」を計画的に推進するための協議・情報共有を行うことを目的とする。

（協議会の実施事項）

第3条 協議会は、次の各号に掲げる事項を実施する。

- 1 流域治水の全体像を検討し、その情報共有を図る。
- 2 「氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策」、「被害対象を減少させるための対策」、「被害の軽減、早期復旧・復興のための対策」を含む、「流域治水プロジェクト」の策定と公表。
- 3 「流域治水プロジェクト」の取組に関するフォローアップ。
- 4 その他、流域治水に関して必要な事項。

（協議会の構成）

第4条 協議会は、別表1の職にある者をもって構成する。

- 2 協議会は、各構成員の命により、各機関からの代理出席を認める。
- 3 協議会に会長及び副会長を置き、会長には日高振興局長、副会長には日高振興局副局長（建設管理部担当）をあてる。
- 4 会長は協議会を代表し、会務を統轄する。なお、会長不在の時は副会長が会務を統轄する。
- 5 会長は協議会の同意を得た上で、必要に応じて別表1の職にある者以外の者（学識経験者等）を参加させることができる。

（幹事会）

第5条 協議会に幹事会を置く。

- 2 幹事会は、協議会の運営に必要な情報交換、流域治水に関する検討などを行い、その結果を協議会に報告する。
- 3 幹事会は、別表2の職にある者をもって構成する。
- 4 幹事会は、各幹事の命により、各機関からの代理出席を認める。
- 5 幹事会に幹事長及び副幹事長を置き、幹事長には胆振総合振興局室蘭建設管理部事業室長、副幹事長には胆振総合振興局室蘭建設管理部用地管理室長をあてる。
- 6 幹事長は幹事会を代表し、会務を統轄する。なお、幹事長不在の時は副幹事長が会務を統轄する。

（会議の公開）

第6条 協議会は原則として報道機関を通じて公開とする。ただし、審議内容によっては協議会に諮り、非公開とすることができる。

- 2 幹事会は非公開とし、幹事会の結果を協議会へ報告することにより公開と見なす。

(協議会資料等の公表)

第7条 協議会に提出した資料等については、速やかに公表するものとする。ただし、個人情報等で公表することが適切でない資料等については、協議会に諮って非公表とすることができる。

2 協議会の議事については事務局が議事概要を作成し、出席した構成員の確認を得た後に公表するものとする。

(事務局)

第8条 協議会及び幹事会の庶務を行うため、事務局を置く。

2 事務局は、胆振総合振興局室蘭建設管理部事業室治水課に置く。

(雑則)

第9条 この規約に定めるもののほか、協議会の議事の手続きその他運営に関し必要な事項は協議会で決定するものとする。

(附則)

この規約は、令和5年(2023年)3月 日 から施行する。

別表1 新冠川水系流域治水協議会 構成員一覧表

関係機関	構成員
日高振興局	局長（会長） 副局長（建設管理部担当）（副会長）
日高南部森林管理署	署長
新冠町	町長

別表2 新冠川水系流域治水協議会 幹事一覧表

関係機関	幹事
胆振総合振興局	室蘭建設管理部 事業室長（幹事長） 用地管理室長（副幹事長） 維持管理課長、地域調整課長、治水課長
日高振興局	地域創生部 地域政策課主幹 産業振興部 林務課長 森林室 森林整備課長
日高南部森林管理署	治山グループ 総括治山技術官
新冠町	総務課長

新冠川水系における連携事業一覧

連携事業については、今後変更となる場合がある。

組織名/取組概要	水系名				
	新冠川				
日高振興局					
河川整備	●				
既存ダムの事前放流等	●				
農業排水路整備	-				
砂防関係施設整備	●				
治山対策（道有林）	●				
治山対策（民有林）	●				
森林整備（道有林）	●				
森林整備（民有林）	●				
海岸整備等	●※				
防災	●				
日高南部森林管理署					
治山対策	●				
森林整備	●				
新冠町					
防災	●				

※高潮浸水シミュレーション（想定最大）を実施する予定。